

新たな飛躍をめざす市民の会 News Letter

はまだ剛史 とともに

第18号 令和2年9月 発行者：新たな飛躍をめざす市民の会 発行責任者：山本 政行
〒569-0071 高槻市城北町 1-14-6 荒木ビル1階 電話・FAX 072-674-1007

新型コロナウイルス感染症対策を最優先に 市民の命と生活を守り、地域経済の回復に全力を



今年1月、日本国内で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されてから、かつて経験したことのない事態が続いてきました。この間、外出自粛や休業要請への対応など、感染拡大防止の取組に多大なご協力をいただいていた市民の皆さま、事業者の皆さま、医療・介護等の現場でご活躍いただいていた皆さまに心から敬意を表し、感謝申し上げます。

7月以降、大阪府において感染が再拡大し、高槻市でも新規感染者が再び増加傾向となりましたが、人口1万人あたりの感染者数を大阪府内で比較しますと、高槻市の感染者数は少ない状況にあり、市内における感染は一定程度、抑えられているといえます。しかし、効果的なワクチンや治療薬が実用化されるまでは、細心の感染防止対策と社会経済活動との両立に根気強く取り組んでいかなければなりません。

100年に一度ともいわれる感染症の脅威、加えて経済の危機的な状況に直面する中、高槻市は、国・大阪府と連携して総額430億円の新型コロナ関連施策を講じ、このうち市独自の緊急対策として、市民生活や地域経済の支援等に39億円の補正予算を編成し、迅速に実行してまいりました。さらに、9月議会でも9億円の追加補正予算を計上しましたが、今後も機会を逸することなく、全庁を挙げて支援に取り組んでまいります。

令和2年度は、私にとって市長就任後10年目の節目にあたり、あらゆる世代の市民生活を豊かにする施策の充実や将来の発展への礎となるビッグプロジェクトの推進、危機的な状況に即応できる行財政基盤の強化に全力で取り組んでまいります。

引き続き、次世代に安心と希望をつなぐ「みらい創生」のまちづくりに、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高槻市長 **濱田剛史**



「生活支援」「事業者支援」「感染予防」の3本柱で 高槻市独自に総額 **39** 億円の支援施策を展開

■主な市独自の取組（5月・6月補正予算）

生活支援	高校生などへ高槻産米 10 kg を送付	障がい者手当受給者へ 1人に 2万円 を給付
	水道料金の基本料金を 4か月分半額	自転車駐車場の学生定期更新時に 1か月分無償 で延長
	児童扶養手当受給者へ 児童1人に 2万円 を給付	会計年度任用職員を 採用 (内定が取り消された人など対象)
事業者支援	プレミアム率150%の商品券 地元のお店応援券を発行	2千円で5千円分 の商品券が購入できる「購入引換券」を9月中に全世帯に送付
	中小企業等支援給付金 20万円 を支給	休業要請支援金 (中小企業に 100万円 、個人事業主に 50万円 を支給)※府市共同
	事業者応援給付金 10万円 を支給	事業融資資金の信用保証料 2分の1 を補給
感染予防	授産事業実施の 障がい福祉サービス事業者 に給付金	帰国者・接触者外来を設置する市内の 医療機関 を支援
	新型コロナ対策の体制強化 (PCR検査数の増加 など)	高齢者インフルエンザ予防接種 今年度無料化 (65歳以上)
	高齢者 ICT 推進事業 (スマートフォン講座の開催等)	避難所 の感染防止対策の推進 (段ボールベッドの購入等)

さらに追加対策 9月議会で総額 **9** 億円の支援施策を決定！

■主な市独自の取組（9月補正予算）

- 中学3年生までの子どもがいる世帯に 対象者1人につき5千円分の商品券を配布
- コミュニティ市民会議に活動支援特別給付金を支給
- 商店街や小売市場に支援給付金
- 社会福祉法人に特別応援金を支給
- 医師会や医療機関等の地域医療活動を支援
- 公共交通事業者に特別応援金を支給

高齢者の命を守る！ 高槻市新型コロナ 防衛アクションを推進

新型コロナ防衛アクションは、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方を感染から徹底的に守り、市民全体の感染予防、医療崩壊の防止、社会経済活動の維持を目指す取組です。

うつらない行動
うつさない思いやり
“オール高槻”で実践

3つのアクションに
市民、事業者、行政
で取り組みます。



新型コロナ防衛アクションのラッピングバス

新規会員を募集しています

はまだ剛史市長を応援し、本会の趣旨に賛同していただける皆様のご入会をお待ちしています。事務局までご連絡ください。

事務所：高槻市城北町 1-14-6 荒木ビル 1階
電話 / FAX：072-674-1007

はまだ剛史 検索

<https://hamada-takeshi.jp/>



市民福祉の更なる向上と将来にわたり誰もが幸せを実感できるまちの実現へ 令和2年度重点施策を着実に推進

濱田市長が令和2年度にあたり表明した施政方針に基づき、高槻のみらい創生に向けた重点施策が着々と進められています。今号では、施政方針等に盛り込まれた重点施策を分野別に紹介します。



都市機能の充実

- 新たな産業の立地など、高槻インターチェンジ周辺のまちづくりを推進
- 檜尾川以東における新駅設置と新たな市街地形成の検討を深度化
- 富田地区のまちづくり基本構想策定に着手
市営富寿栄住宅建て替え事業のPFI事業者を選定
- 新 通学路等の交差点における安全対策を実施
- 令和3年3月の安満遺跡公園の全面開園に向け、整備を推進
- 芥川緑地プール跡地（南平台）に、関西最大級の健康遊具数を備えた公園整備を推進

産業の振興

- 地産地消の推進に向け、地元産農産物の安定した供給を支援
- 次代を担う新規就農者の経営確立を支援
- 森林の災害復旧事業を推進
- 市外企業の誘致と市内企業の定着を促進
- 商工会議所との連携強化により市内商工業を振興
- 大阪・関西万博の開催を見据え、観光振興を強化
- 新 「文化財保存活用地域計画」を策定
- 芥川山城跡の恒久的な保存・活用を見据え、国史跡指定に向けた取組を推進

効果的な行財政運営

- 新 市税及び国民健康保険料のキャッシュレス決済導入に向けた取組を推進
- 戦略的かつ効果的な定住促進プロモーションを実施

安全・安心のまちづくり

- 「国土強靱化地域計画」に基づき施策を推進
- 新 防災行動を時系列に整理する「コミュニティタイムライン」策定に向けた地域の取組を支援
- 地区防災会及び自主防災会の活動を支援
- 新 災害時の停電対策、避難所との情報共有体制を確保
- 指定避難所にマンホールトイレを整備
- 公共施設のブロック塀を計画的に撤去、民間所有ブロック塀の撤去を支援
- 新 青色防犯パトロール車へのドライブレコーダー設置に対する補助制度を創設
- 聴覚障がい者等からの119番通報への対応を強化（Net119緊急通報システムの導入）
- 新 通学路防犯カメラ410台を更新し、加えて新たに400台の防犯カメラを設置（令和3年9月から）

良好な環境・市民生活の充実

- エコハウス補助金により創エネ・省エネ機器の設置を支援
- 新文化会館の整備を推進（「高槻城跡公園 芸術文化劇場南館」として令和4年度中に開館）
- 将棋文化を振興（タイトル戦開催、子ども将棋教室の運営支援等）
- 総合スポーツセンター総合体育館の中体育室に空調機器を設置

子育て・教育環境の充実

- 新 送迎保育ステーション事業の実施に向けた取組を推進
- 新 子ども医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大
- 新 宿泊型の産後ケア事業を実施
- 要保護児童等への支援体制を強化
- 第四中学校区等で施設一体型小中一貫校の設置に向けて検討
- 人工知能(AI)等先進技術の教育への活用を検討
- 新 統合型校務支援システムの導入により教員が児童生徒と向き合う時間を拡充
- 新 児童生徒1人1台のコンピューター環境の整備を推進

健康・福祉の充実

- 持続可能な三次救急医療体制を確保するため、大阪府三島救命救急センターの大阪医科大学附属病院への移転を推進
- 高槻島本夜間休日応急診療所の弁天駐車場敷地（八丁西町）への移転に向け検討
- 介護予防の更なる普及啓発（新たな介護予防体操の活用など）
- 持続可能な「市営バス高齢者無料乗車制度」に向けた見直し（令和3年4月から）
- 新 「手話言語条例」を制定（手話及びろう者に対する理解、手話の普及促進）
- 国民健康保険の府内統一基準への移行に対応（低所得者の保険料負担に配慮）
- がんの早期発見・早期治療に向け、各種無料検診や効果的な個別受診勧奨を実施

まちづくりの3本柱



市民福祉の向上につながる施策を充実

- 都市機能
- 子育て・教育
- 福祉・医療

市政運営の方針

『みらいのための経営革新』の取組を推進

～歳入改革、歳出改革、公営企業・外郭団体改革を着実に推進し、健全財政を維持～

- ・市有資産の売却、貸付
- ・民間活力の導入・拡大
- ・職員の働き方改革で生産性の向上

高槻の輝かしい未来を創生

※ 新 は新規施策です。これらの他にも重点施策は多数あり、高槻市ホームページで概要が紹介されています。